地方協議会での取組状況(21年度)

組織名	九州米粉食品普及推進協議会

		内　　容
連携の確立や供給体制の整備	福岡	○福岡県学校給食会 　県内の57市町村の小中学校で米粉パンが提供された、米粉：強力粉＝7：3の比率で作られている。県内産のお米（夢つくし）66t使用。製粉は県内の中島製粉。学校給食の様子はニュースで取り上げられた。また、農政事務所のHPでも紹介。
	長崎	○株式会社サンフリードで、長崎県産ヒノヒカリを使用した「長崎の米粉」を4月から製造販売開始。
	熊本	○熊本県が米粉普及拡大にむけ、推進計画を策定（農山漁村地域活性化プロジェクト交付金、及び県独自事業費） ○上記熊本県の地域推進計画により、熊本製粉、JA鹿本などに製粉機、製粉ラインを設置し、各種米粉食品の製造販売を開始 ○熊本県立鹿本農業高校が考案した「高校生のコメロンパン」の生産を拡大（製造：古木家、販売：（株）阿蘇デリシャス）、首都圏、近畿圏、中国四国の百貨店等で販売（期間限定、催事販売）10月に行われたプロジェクト発表全国大会において、2年連続グランプリを獲得、また九州経済産業局からものづくり大賞を受賞。 ○生産製造連携計画事業費の活用に向け、農政局が各種事業者へ個別説明やマッチングを行っている。
	大分	○県（大分県米消費拡大推進協議会含む）が主体となり、県産米粉の生産から加工・商品開発（食料産業クラスター協議会連携）を推進し消費宣伝活動を行っている。
	鹿児島	○コープかごしまは、農業法人「アグリサービス（鹿児島県日置市）」で生産された米を使用した米粉麺（（株）ヒガシマル ）、米粉ロール（（株）池田パン）、エビフライ（衣に米粉23％使用、ハクア食品）などを平成21年11月から各店舗で販売している。
需要拡大の取組	福岡	○　県内の糸島農業高校に米粉めんの開発依頼を行った、普及協議会の会員である「まあるいテーブル」の社長と料理長からアドバイスをもらい「焼きそば」「ラーメン」等を作成、野菜は地元の野菜を使うなど、地元との連携を深めた。開発した米粉めんは、文化祭で販売された。 ○　米粉商品取り扱い店舗の店舗情報をHPで紹介、県内では店舗が44（米粉販売は6業者）、製粉会社1、農協3と増えてきている。 ○福岡市の食育推進協議会の方々等に米粉パンの紹介を校区ごとの依頼により実施、21年度は25回実施（549名の参加）。 　参加された方から後日、販売店に関してかなりの問い合わせがあり、HPを紹介。 ○福岡県食育ボランティアネットと農協の婦人部等に呼びかけ、米粉普及リーダーの育成をはかり、研修を県内各地で5回開催100名以上の参加があった。
	佐賀	○米粉パン試食会（開催回数2回、のべ来場者数500名） ○米粉勉強会（開催回数1回、参加人数30名） ○パネル展示（開催回数2回、のべ来場者数2，000名） ○懇談会（開催回数4回、のべ参加人数110名）

地方協議会での取組状況(21年度)

組織名	九州米粉食品普及推進協議会

		内　　容
需要拡大の取組	長崎	○長崎県生麺協同組合総会において、米粉と米粉めんについて講演を行った。(5月21日　参加人数4 ○長崎県菓子工業組合主催米粉和菓子研修会において、米粉について講演を行った(7月23日　参加人数30名) ○主に製麺業者を対象とした米粉めん講習会を開催した。(10月22日　参加人数24名) ○ながさき恵み・実りの感謝祭において、米粉パンの試食及びコーヒーミルによる米粉作りの実演を行うと共にチラシを800部配布(11月14日～15日　来場者数85000人) ○長崎県民大学の米粉料理教室において、米粉に関する講演を行った。(11月26日　参加人数20名) ○長崎県食卓グループの米粉料理教室において、米粉に関する講演を行った。 (22年1月20日　参加人数30名) ○県内各種イベントにおいて、米粉関連パネル展示、レシピ、チラシの配布を行った。(長崎新鮮市(平成21年4月25～26日　15万3千人)久田学園おにぎりんピック(平成21年10月28日　150人)JA長崎西海農業祭り(平成21年11月22～23日　2万人)佐世保食育祭(平成22年2月11日　1800人))
	熊本	○熊本製粉の米粉製造ラインが竣工し(プロジェクト交付金活用)本格稼働(6月) ○熊本県が独自予算により、学校給食への米粉パン導入開始(9月～)、各種講習会開催、米粉食品コンテスト、店舗紹介等を実施(熊本県HP　http://cyber.pref.kumamoto.jp/komeko/Default.aspx) ○5月20日(水)～22日(金)に福岡市マリンメッセにおいて開催された西日本食品産業創造展に九州協議会ブースを出展し九州における米粉食品の状況をピーアールした。(日刊工業新聞社主催、来場者数17000人) ○社団法人米穀安定供給確保支援機構との連携により、11月20日(木)熊本県益城町「グランメッセ熊本」において「九州米粉シンポジウム」を開催。(主催:米穀機構、後援:九州農政局　入場者約300名)(別紙チラシ参照) ○2月13日(土)熊本市において地元テレビ局KKT(熊本県民テレビ)が「Do you　農？米粉はうまい！フォーラム」を開催。会員各社が協賛し、シンポジウムパネリストとして堤会長、熊本製粉川崎副社長、九州農政局消費拡大係長が出演。(主催:KKT、協賛:(株)丸菱、(株)熊本製粉、水辺ぷらざ鹿本、阿蘇デリシャス、熊本県農協中央会、入場者約530名)協議会作成のショップガイドとレシピの配布を行った(別紙チラシ参照) ○熊本製粉が熊本市、福岡市において米粉食品等の展示会を開催　(9月3日熊本、9月18日福岡:入場者両会場合計　約500名) ○託麻ワークセンター「ベーカリーさくら」が冷凍米粉ピザ生地を東京都内の自然食レストランへ供給

地方協議会での取組状況(21年度)

組織名	九州米粉食品普及推進協議会

		内　　容
需要拡大の取組	大分	○各種イベントにおいて、PRパネル展示及びレシピ等を配布。 みんなの消費生活展（10月9日　来場者：358人） 大分県農林水産祭（10月24日～25日　来場者：48000人） 中津市健康づくり推進大会（12月5日　来場者：120人） 大分市みんなの消費者大会（1月21日　来場者：150人） ○大分市において21年度より、米粉料理の普及による米消費拡大のため、米粉料理インストラクター制度に取り組む。
	宮崎	○宮崎県パン協同組合連合会主催の米粉パン製造講習会が開催され、熊本製粉（株）を講師に迎え、組合員等に対し、米粉パンの製造講習会を行った。 ○平成21年11月22日に宮崎市において開催された「宮崎県食育・地産地消推進大会」の中の「米ニティフェア」において米粉食品のPRを行った。 ○宮崎県洋菓子協会主催の米粉講習会が開催され（後援：宮崎農政事務所、宮崎県）、「浦和ロイヤルパインズホテル」ペストリーシェフ朝田晋平氏を講師に迎え、組合員等に対し、米粉技術講習会を行った。
	鹿児島	○「親子でモチモチ米粉パン」つくり教室　平成21年7月11日（土曜日）10時～14時 ●場所：鹿児島市勤労女性センター調理室　●参加者：公募による親子16組（36名）　●主催：鹿児島市勤労女性センター　●共催：九州農政局鹿児島農政事務所、九州米粉食品普及推進協議会鹿児島部会　●講師：グリコ栄養食品（株）食品原料営業部九州営業所　主事　西久保秀典　氏 ○「よい食・環境鹿児島県民フォーラム」設立イベント　平成21年11月20日（金）12：30～14：30 ●場所：鹿児島中央駅前（アミュ広場）●内容：あきほなみのおにぎり無料配布、具だくさん味噌汁無料配布、米粉食品の展示、試供品配布（100人分） ○「★親子♪米粉でクリスマスロールケーキ」教室　平成21年12月12日（土曜日）10時～14時 ●場所：鹿児島市勤労女性センター調理室　●参加者：公募による親子18組（37名）　●主催：鹿児島市勤労女性センター　●共催：九州農政局鹿児島農政事務所、九州米粉食品普及推進協議会鹿児島部会　●講師：「のせ菓楽」パティシエ　小城吉輝　氏 鹿児島市消費生活フェア　平成22年2月4日（木）～8日（月） ●平成22年2月6日（土）・7日（日）に米粉パン試食（約500名）

地方協議会での取組状況(21年度)

組織名	九州米粉食品普及推進協議会

		内　　容
その他	福岡	○米粉商品の表示についてであるが、何%から米粉○○と商品名をつけれるのか、基準を作るなり統一をしてほしい。 ○米粉パンを学校給食に導入した場合、ご飯食の回数としてほしい。また、その際に何%からカウントできるのか基準を作ってほしい。
	熊本	○熊本県内の小、中学校において学校給食へ米粉パンを導入（県による小麦粉パンとの差額補助を実施）ほとんどの小中学校において週1回提供された。新規需要米の収穫量、価格等が正式契約されるまで、政府備蓄米無償交付制度を活用し原料米とした。22年度からは県産新規需要米で供給することとしている。
	長崎	○平成22年4月より、長崎県内全域の小中学校で米粉パンを導入する計画が進められている。（初年度は政府備蓄米、次年度以降は新規需要米を活用する予定） ○学校法人川島学園（調理師とパティスリー養成の専門学校）が、雲仙市の棚田を教育田として活用し、収穫された米を米粉にして、料理試作・レシピ開発などに取り組んでいる。 また、当該米粉を使用した生徒の作品がシュガーロード学生スイーツコンテストで優秀賞を受賞した。
	宮崎	○宮崎県米消費拡大推進協議会が、「製パン業者、菓子業者、加工グループ等」の商品化を目指す方及び料理教室等の普及啓発を行う方に対して、宮崎県産米を原料としたサンプル米粉（パン用、菓子用、麺用）の無償提供を行った。 ○平成15年12月から導入試験を行い、平成18年1月から本格導入した。 米粉パン導入校数：345校（平成21年3月） 平成20年4月～平成21年3月までの年間使用量：31．8トン ○生産・流通・加工・販売の各関係者の連携により、生産から販売まですべて自県で実施できるよう実用試験中である。
	鹿児島	鹿児島県は21年6月の補正予算で県内産米を使用した米粉パンの普及啓発のため16,360千円の予算を措置した。この措置により学校給食用パンに供給される米粉に助成が行われ、21年度（9月～3月）において13トン使用する見込み。

22年度の取組計画

組織名	九州米粉食品普及推進協議会

内　　容
○各会員により、取組が活発化していることから各自治体による事業への取組が見込まれることから、参加希望のある会員への情報発信が益々重要となるため、HPや米粉食品取り扱い店舗紹介の充実を図る（九州のショップガイド店舗数は作成当初の19年から倍増） ○九州各県の特産品等を活かした米粉食品の開発を促進するとともに、家庭用米粉料理の普及拡大にマスコミ等を活用し、関係者との連携を図る ○各県部会総会における意見交換を活発にし、農政局、農政事務所による各種コーディネート、マッチングを図る